



学生とまちづくりを考えよう！ in 大麻

まちづくり 70 のアイデアカード × まちあるき = 大麻地区への 15 の提案

2014 年 8 月 21 日 (木) ~ 24 日 (日)

主催：一級建築士事務所 黎明座
東京工業大学 土肥研究室

協力：Community HUB 江別港
NPO 法人えべつ協働ねっとわーく

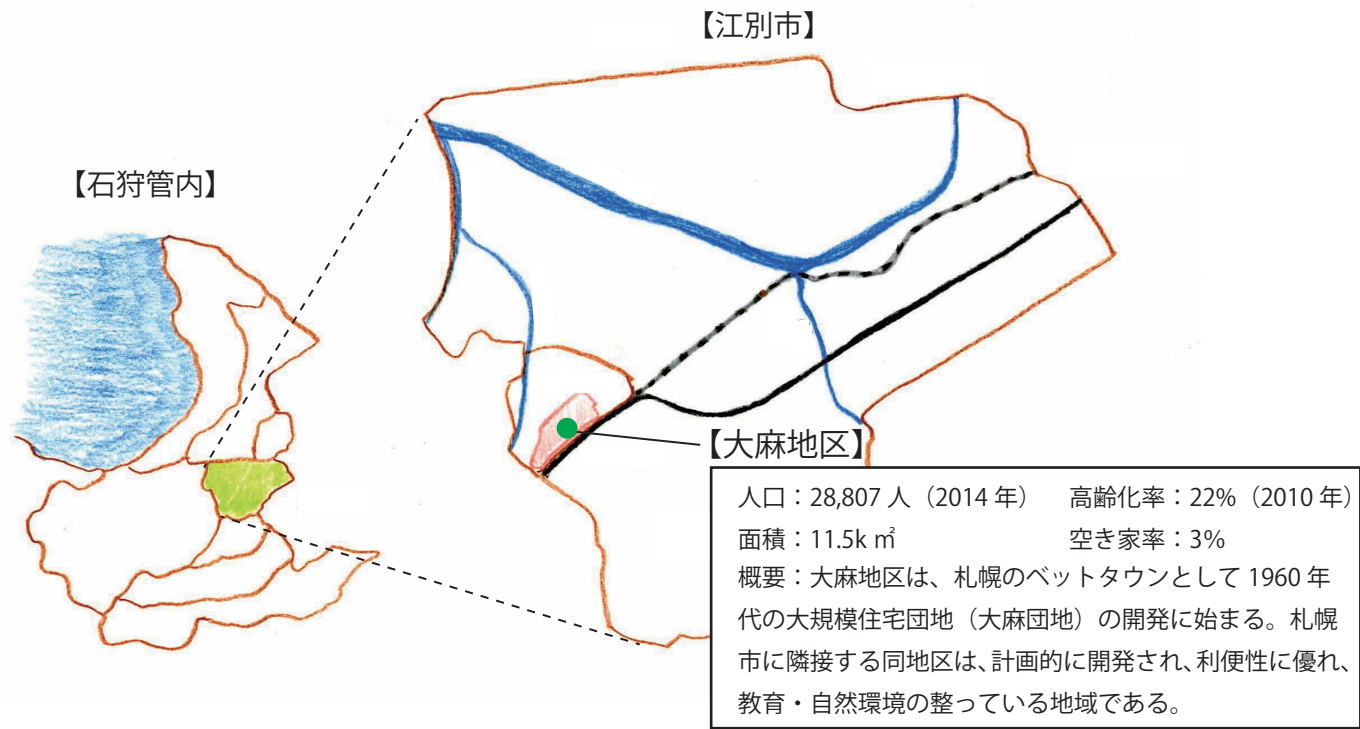
はじめにープロジェクトの経緯

今回の企画は立案から実施まで約2ヶ月間を費やしておりましたが、皆さんにお知らせを始めたのが1週間前と大変遅くなってしまいました。しかし、それに関わらず、大麻の皆さんにはとても暖かく迎え入れて頂き大変感謝しております。

大麻団地には平成25年度の「江別市安心生活まちづくり推進事業」の住宅相談員として関わったのが始まりです。同時期、所属する石狩管内6市の市民活動団体からなる「市民活動広域ネットワーク・アクティブ・アクティブ」で管内の団地再生問題に取り組むことになり今年1月には石狩管内各市の行政の皆さんと団地再生勉強会を開きました。今年11月には同団体と公益財団法人北海道地域活動振興協会が主催する「地域連携コミュニティ再生事業・全体フォーラム」が団地再生をテーマとして大麻で開かれることが決まっており、それに先立ち大麻団地で何かアクションを起こそうとしたのがこの企画が生まれた経緯です。「全体フォーラム」以外にも、現在大麻には江別市による先述の「江別市安心生活まちづくり推進事業」や地域のNPO、市民団体あるいは個人による大麻をよくしようとする活動が様々あります。そのような活動に今回の企画がよい影響を与えられればと思います。

また大麻団地に限らず、郊外型ニュータウンと呼ばれる住宅地群では、全道的にも全国的にもその急速な高齢化に伴い様々な類似の問題が浮かび上がっており、それらに対する様々な取組みも各地で数多く行われています。今回の企画がそのような取組みに刺激を与えることができればこんなうれしいことはありません。

一級建築事務所 黎明座
遠藤 淳



目次

大麻まちづくり 15 の提案	・・・ 2p
大麻ワークショップ合宿タイムライン	・・・ 10p
まちかど美術館 & ポストイット・ワークショップ	・・・ 11p
大麻まちあるきーそれぞれが大麻のまちに身体をひたしてみた	・・・ 14p
広域まちあるきー水とエネルギーの循環を確かめる	・・・ 15p
まちづくり 70 のアイデアカード	・・・ 16p
15 の提案発表会 & 意見交換会	・・・ 17p
発表会に対するみなさんの声	・・・ 18p
おわりに	・・・ 20p



大麻まちづくり 15 の提案

15 のまちづくり提案

東工大チーム 5 名による大麻まちづくりへの 15 の提案。事前に準備してきた 70 のアイデアカードを手に、それぞれが大麻での 4 泊 5 日の合宿を通じて出会ったまちの人々や場所、自然や歴史からまちづくりの提案を行った。

15 のまちづくり提案

A-1 大麻まちなかりビング

A-2 まちの記憶アルバム

A-3 ちよとくつろげる冬のおふかし

A-4 まちなかがテンミュージアム

B-1 大麻の風土の中から生まれる日常の中のお祭り

B-2 団地の中の小規模商“点”街

B-3 除雪車を必要としない歩行者のためのみちづくり

C-1 大麻プレイパーク

C-2 地産地消～まちと団地がつながって

D-1 にじみ出す団地景～カラフルカーテン～

D-2 キズナを運ぶ野鳥プロジェクト

E-1 子どもと鳥のゆりかごプロジェクト

E-2 まちと遊び場改良プロジェクト

E-3 みんな教えて！秘密の小道プロジェクト

E-4 遊歩道から感じる四季折々

提案者
【A-1 ～ A-4】：北畠拓也
【B-1 ～ B-3】：坂村圭
【C-1 ～ C-2】：菅原翔大
【D-1 ～ D-2】：増田知久
【E-1 ～ E-4】：吉田祐記

A-1：大麻まちなかりビング
【参照したアイデアカード：No.11、24】
【提案について】
1,2 日目のまちあるきで、主に大麻地区の西側半分を散策した。そこには中央公園や西公園、おうぎまち公園とそれに続く緑道など、素敵な環境・ひとが集まる場所があった。一方で、それらの間に伸びる商店街はシャッターが閉まっていたり、空き店舗も多い。素敵な広場や小道をつなぐように、商店街の中に、誰もが『ちょっと立ち寄れる』コミュニティスペースをつくることで、まちの中にみんなのリビングが生まれる。

A-1 大麻まちなかりビング

商店街の空きスペース（空き店舗）を利用して、いろいろな世代の人が「ちよとくつろげる」まるで第二のリビングルームのような空間をつくる。パークゴルフのあとに、保育園のお迎えのあとに、ちよとより道。



あまの公園や小道をつなぐ
コミュニティスペースをつくる。

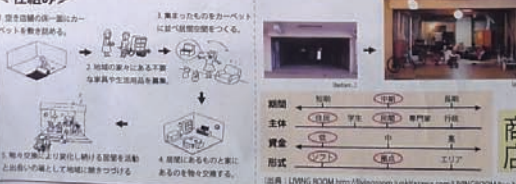
商店街商店街
中街商店街
西公園
大麻駅
まちなかりビング候補地。

No. 11 まちなかにあらわれる『居間』

<解決できたこと>
コミュニティ増進 / 商店街活性化

<仕組み>
1. 空き店舗の一角にカーペットを敷き、居間を創出。
2. 集まったものを居間カーペットに置くことで居間をつくる。
3. 居間をつくることで、まちの活性化を促す。

<事例>
場所：埼玉県北本市北本団地
開始年：2010/3
情報：2000 世帯が住む団地



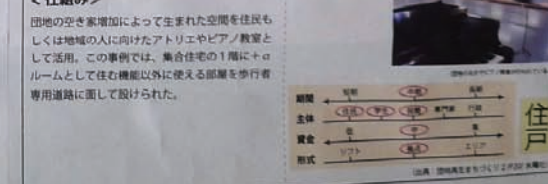
商店

No. 24 『住む+α』がでる団地

<解決できたこと>
空き地空き家活用 / 住民同士の交流が促進される / アートで地域活性化

<仕組み>
団地の空き家増加によって生まれた空間を住民もしくは地域の人のためのアトリエやピアノ教室として活用。この事例では、集合住宅の1階にアトリウムとして住む機能以外に使える部屋を歩行者専用道路に面して設けられた。

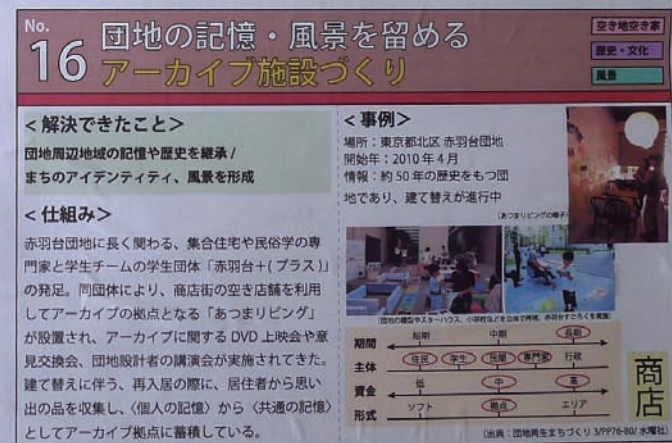
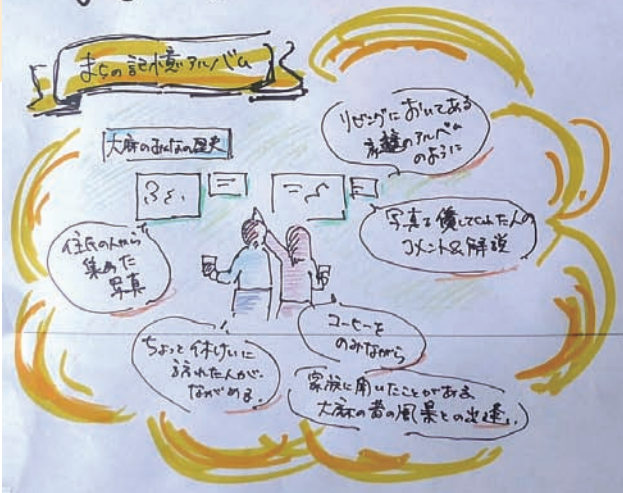
<事例>
場所：多摩ニュータウン
開始年：1980 年代
情報：日本最大規模



住戸

A-2. まちの記憶アルバム

「まちふかりビヅ」の中には、住民の人からお借りした、「まちの記憶」写真を展示。大麻団地の歴史のアーカイブ拠点であると同時に、訪れた人から、まるで自宅のアルバムを見るように「ふかめる」ことができる。



A-2：まちの記憶アルバム

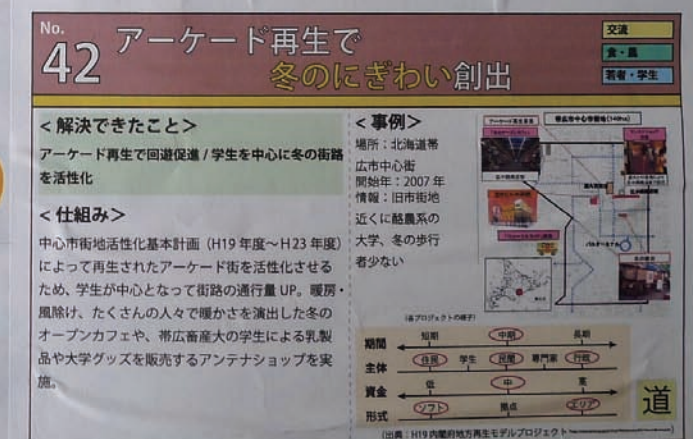
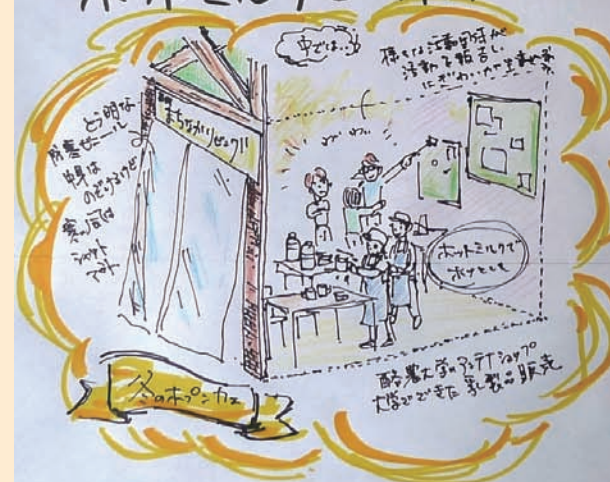
【参照したアイデアカード：No.16】

【提案について】

「まちなかりビング」には、みんながちょっと寄り道したくなるような工夫を盛り込みたい。住民から募集した大麻地区の写真を展示して、まちの記憶をアーカイブするのもそのひとつ。若い人もお年寄りも、写真を見ながら自分のまちを再発見する。肩の力を抜いて、家族のアルバムを眺めるように。

A-3 ちょっとあたたかい
冬のオーブンカズ

寒い冬でもアーケード街の回遊量を増やしたい。
 “まちなかリビング”は、冬仕様で改造して、冬のオープンカフェに。
 いろいろな活動が、あたたかくなる。酪農大のアテナショップの。
 ホットミルクで、ホッとして。



A-3：ちょっとあたたかい冬のオープンカフェ

【参照したアイデアカード：No.42】

【提案について】

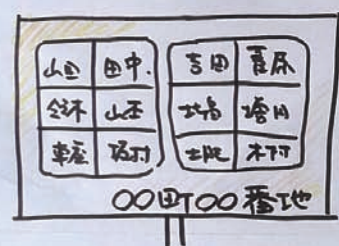
誰にでもオープンな「まちなかりビング」の大敵は冬の寒さ。帯広市のアーケードにあるコミュニティスペースでは、「冬のオープンカフェ」として帯広畜産大の学生によるアンテナショップを開催した。

もちろん防寒シートで少しでも寒さを防げるよう工夫をして、そして大麻にあるリソースを最大限に活かして、冬のまちなかをちょっとにぎやかに、ちょっと温かく、できませんか？

A-4 まちなかガーデン・ミュージアム

まちなかにある「番地表示」の看板。名前が書いてある簡易なもの。せいか、多くのお宅できゅうにお庭を手入れしているの。我慢のお庭を番地表示に見られるようにする。ただ、看板がまるで、まちなかの庭を展示しているミュージアム・カタログに。

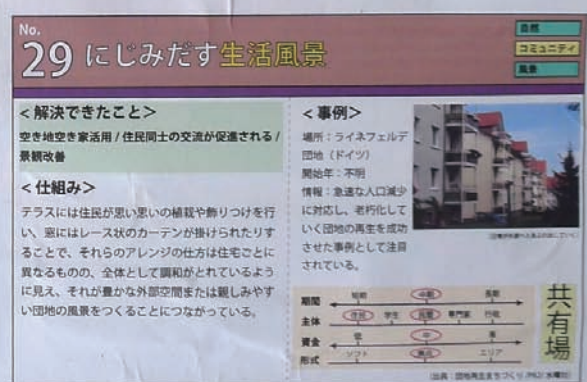
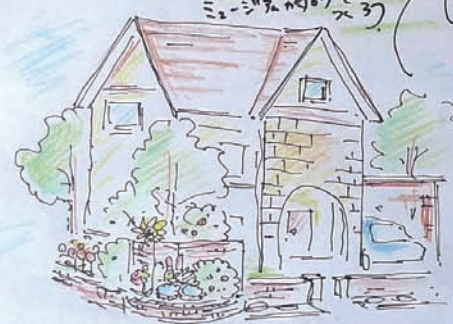
＜現在の番地表示＞



＜ガーデン・ミュージアムに！！＞



すまは庭。お宅。たて。まちなかの作品をみる。ミュージアム・カタログ。



A-4：まちなかガーデン・ミュージアム

【参照したアイデアカード：No.29】

【提案について】

大麻地区の戸建て住宅は、その多くが敷地も広く素敵なお庭を持っている。各家庭のお庭は手入れが行き届いていて、色とりどりの花々がまちの風景を明るくしている。シンプルな番地表示看板に、各家庭のお庭の写真を展示できるようにすれば、それはさながら大麻ガーデン・ミュージアムのカタログに。少しの工夫でまち全体がミュージアムのようになり、散歩するのが楽しいまちに。

B-1：大麻の風土の中から生まれる日常の中のお祭り

【参照したアイデアカード：No.48、59】

【提案について】

大麻西地区の戸建住宅街を散策しているときに思いついたプロジェクト。大麻の住宅地は低い塀、三角屋根、前面庭によって統一性が保たれている。まちで知り合った人たちの話から、これらのデザインはまちが雪と向き合う必要性から生まれたものだとなった。しかし大麻のまちなみはこの統一性に支配された単調なものではない。それは、人々の個性と内面がにじみ出たデザインであり、塀のデザインを例にとれば、低さを保ちつつも素材、樹木の利用、庭との関係性が個々に異なる多様なものである。この統一性と多様性を保ちつつ、通り、街区単位での景観、一体感を向上するために考えたのが本提案であり、大麻の資源を最大限に活かしたプロジェクトだと感じている。

B-1 大麻の風土から生まれる日常の中のお祭り

・大麻の資源-「風土が生んだ統一性と多様性」

低い塀
雪に強いつくり
コンクリート造りの外観

三角屋根
雪に強いつくり
コンクリート造りの外観

前面庭
雪に強いつくり
コンクリート造りの外観

課題-「十分に管理されていない場所」
住民意識の差 / 高齢化 / 空き地空き屋
公共空間にまで侵入
私利私欲空間

⇒「戸建住宅地の資源の活かし方は？」

・多様性

＜塀＞

＜前庭＞

＜屋根＞

提案

「風土に型どられた多様性を愛する」

風土が生んだデザインは美しい。そこに住民の思いが加わることによって個性が豊かになる。

1) 表彰制度の導入 / 発表の場の提供
⇒ 日常的活動を賞賛
多様性を残しつつ個性を

2) 交代制で空き地や公園イベントを
⇒ 通り / 街区のつながり、まちの形成
街区ごとが統一しつつ成長

× 集会場 (大規模な公園)

× 集会場 (住宅地内)

大麻まちづくり 15 の提案

B-2 団地の中の小規模商“点”街

・課題 - 「買い物難民の発生」

計画団地隆盛 → 郊外大規模店 車利用 → 車利用困難 ← 高齢者 → 大規模店遠く → 人口 ↓ → 既存商店街衰退 → 買い物難民の発生

・大麻の資源 - 「住宅街の中のトマト屋」

住宅地に突然あらわれるトマト屋。もう15年目の人気店。

小規模の店は安い。大規模だと高い。責任（地域に力/Eの付いた店）が住める？

農業を栗山町で営んでおり、家は、大麻団地。毎週、トマトを運んで来て、トマト屋で売っている。

「住宅団地内に点在する商店を持続させるには？」

提案

“小規模商“点”街をつくる”

自然的に生れたモノは強い。人口構成、技術、他地域の文化に強い商店街が団地に必要。

1) 住宅地内に商点街の拠点も！
商品と情報の物々交換所 - 見世 -
⇒ 住民ニーズの把握... 必要店機能...
⇒ 点在する店をつなぎ... 仮想商点街

2) お店を気軽に開ける環境づくり
⇒ 用途地域を越えた区域づくり
⇒ 開業資金を補助する経済仕組み

B-2：団地の中の小規模商“点”街

【参照したアイデアカード：No.11、21】

【提案について】

大麻西地区の住宅街で見つけたトマトの直売所のおじさんと話して思いついたプロジェクト。大麻の商店街は他の郊外住宅地と変わらず衰退の一途をたどっている。その中で、住宅の車庫を利用して住民の需要に応える形で自然発生的に生まれた商店が存在していた。このような商店は他にも、カフェ、ピアノ教室、八百屋など多岐にわたり、それらは住民の要望に直接的に応えるものであった。既存商店街を無理に再生することよりも、これらの点的資源を維持すること、つなぎあわせることが、50年以上経過した計画住宅地の商業を支える新たな形ではないだろうか。

B-3：除雪車を必要としない歩行者のためのみちづくり

【参照したアイデアカード：No.5、56】

【提案について】

誰に聞いても大麻の一番の課題だという、「除雪」の問題に正面から向き合った提案。大麻の冬の歩行空間はこれまで除雪車によって支えられてきた。一方で、近年、この除雪車によって住戸前に堆雪される雪の処理が高齢者の重荷となっている。この堆雪の処理の方法を新たに考えるのではなく、除雪に頼らない歩行空間の整備は考えられないだろうか。このような視点で街を歩くと、大麻にはクルドサックや幅員の広い住戸間道路などの資源が散りばめられていることに気付く。この資源を基に、除雪車が一般的となる以前から行われてきた圧雪、馬そりなどの方法でまちを行き交うことが可能となれば、歩行環境が整備されるだけでなく、公共投資が削減され、さらには新たな観光資源として大麻のまちを活性化する一つのきっかけとなるだろう。

B-3 除雪車を必要としない歩行者のためのみちづくり

・大麻の資源 - 「歩行者にやさしい環境」

・課題 - 「冬に様変わりする歩行空間・住宅地」

・あじふ会の方のお話

冬は特に除雪車によって家の周りの除雪が大変。特に高齢者には大変だ...

・大麻で声をかけて下さる方のお話

夏だけじゃなくて冬は来ないね。冬は歩くのが大変。外にはあまり出歩かない。

冬の雪の管理が大変で、若い人の中には札幌の冬に慣れた人に変えてほしい。

⇒ 「雪を受けとめた歩行空間はつくれるか？」

提案

“除雪を併わない冬の歩行空間整備”

季節、時間に柔軟に対応したまちをつくりたい。冬には冬の大麻の良さがあり、困難を併わずに歩ける空間をつくるのは必要不可欠。

1) 団地内季節限定歩行者天国

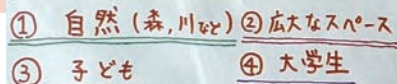
- 足と踏み固めることできる道 ← 丸金
- クルドサックの良さを冬に活かす
- 安全な歩行を支える道のデザイン

2) 高齢者の移動をゆくり支える“ソリ”

- 住宅から商店までの移動をサポート
- ゆくりと進むことでコミュニケーションの機会

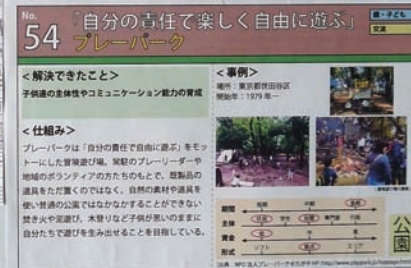
■ 大麻地区の問題・課題 ■ 他地区事例紹介

- ## 四 大麻地区の資源



大学生ボランティアによる子どもへの環境学習

- ## 四 他地区事例紹介



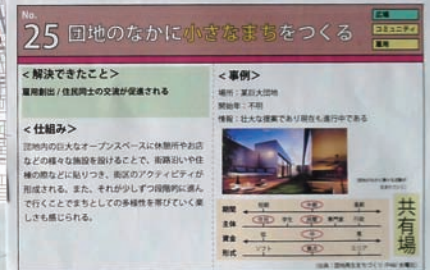
四 大麻地区の
問題 提議

- ## ④ 大麻地区の資源



団地内で定期的に地元の菜園で
つくった野菜を販売

- ### 四 他地区事例紹介



大麻まちづくり 15 の提案

D-1 にじみ出す『団地景』～カラフルカーテン～

Q: 団地で生活する人々の様子が
まちへにじみ出したらおもしろい?

大麻の特徴

- よく手入れされた家庭菜園
- 低い塀、塀のない庭
- 走りたくなる野原
- トンガリ屋根とえんとつ
- 音を感じるまち
- パステルカラーの家
- 白いカーテン...

提案

空き部屋をまちのみんなが使える『コモン・ルーム』(共有の場所)にして色々なイベントや活動を企画、団地住民だけでなくまちの人々がアクセスできる団地に!!

コモン・ルームの可能性

共同で管理する交流拠点
まちの風景にアクセントを加える
アートイベントを企画してみたら

人に
だに
↓

No. 29 にじみ出す生活風景

<解決できたこと>
空き地・空き家活用 / 住民同士の交流が促進される / 景観改善

<仕組み>
テラスには住居が近い窓の縁を飾りつけを行い、窓にはレース状のカーテンが掛けられ、それらのアレンジの仕方は住居ごとに異なるもの、全体として調和がとれているように見え、それが豊かな外部空間または親しみやすい団地の風景をつくることにつながっている。

共有場

No. 70 マンションが緑いっぱい「ためき村」に!!

<解決できたこと>
交流の場の創出 / マンションの空室の活用 / 緑地の創出

<仕組み>
世田谷区北の建物が密集している住宅地の中にためき村の拠点となる39年の古いマンションがある。3階建てマンションには全館で12室あり、そのうち10室は賃貸住宅。最上層の間接であるAルームとDルームの2部屋が「コモン・ルーム」と呼ばれ、ヨガなどのボディーワーク、草木染めや植物療法、味噌作りといったワークショップや講座のほか、地域の人の交流場所として開放されている。

その他



D-1: にじみ出す団地景 ~ カラフルカーテン

【参照したアイデアカード: No.29、70】

【提案について】

大麻のまちを歩いていると、人々の生活風景が公共空間に滲み出している事を感じる。低い敷地の塀を通して見える家庭菜園や家の様子、人々の活動が奏でる音に敏感になれるまち。今は殺風景な団地の風景に少しのアクセントを加えれば、団地の魅力を再考する機会になるのではない。このような経緯でこのアイデアを提案した。現在、空室になっている部屋をコモンルームにすることで誰もが団地と関わる事ができる交流拠点となるだろう。例えば、簡単にできるアートイベントを開催してみる。色彩豊かなカーテンをコモンルームの窓にかけていく、まちの中で団地は今よりも際立った存在となるに違いない。ほんの小さな試みがまちを賑やかにするきっかけとなるだろう。

D-2: キズナを運ぶ野鳥プロジェクト

【参照したアイデアカード: No.36、51】

【提案について】

鳥達に人間が引いた境界は関係がない。彼らは自由に空を飛び、木立に巣をつくり、森を渡り生活をしている。だが、人間の開発が彼らの居場所を損なっているのも事実である。そこで、鳥の居場所づくりを通じ、人々の輪も広がるようなプロジェクトを提案する。空き地に植樹や巣箱の設置などの環境改善活動をまち規模で取り組んでいくことにより人々のつながりを強化していく。さらに自然の大切さを伝える環境教育の場を活性化していくことができる。緑の空間を増やす試みが、心に残る原風景を造る活動へと繋がっていくのだろう。

D-2 キズナを運ぶ野鳥プロジェクト

野鳥の居場所づくりといった自然と共生していくための活動を通して人々のつながりを強化し、人々の心に今後に残っていく原風景を創っていく。

植樹活動
巣箱の設置
バードウォatching
高れい者の知識を伝える場の提供

環境活動

市民の手でまちのみどりを守る
組織づくり
周囲のまちで市民団体と連携に広げる
自然の輪

住民連携

生き物の存在を感じる
水辺に親しむ
土地の起伏などの風景への感覚

自然への意識

No. 36 自然と触れ合う場づくり
子どもたちに環境学習の機会を

<解決できたこと>
子どもへの環境学習機会の増加 / 自然増加

<仕組み>
空き地・空き家の一部をガーデニングや農作業の場として活用し、魅力ある景観を作り出すと同時に、花畑に関するNPOによる園芸教室や、ガーデニング愛好者が参加するオープンガーデンイベント(個人の庭を一般に公開するイベント)なども開くことができ、更にそういった自然と触れ合う場づくりを通じて、子どもたちに環境学習の機会を与えることができる。

共有場

No. 51 「せたがや水辺の楽校」
子供と自然が共生する遊び場づくり

<解決できたこと>
子供が自然と触れ合う場の創出

<仕組み>
「せたがや水辺の楽校」は、国交省が全国で進めている「水辺の楽校プロジェクト」の一環で、地域の活動団体や小中学校、多摩川流域協同組合、区教育委員会などが協力して実施している。他のリビティと連携し、野鳥観察や魚とり、草遊びなどの場を提供している。世田谷では区民が主体となって進めているが特徴。また、近所で散歩感覚で水辺の自然に親しんで欲しいという思いから、毎月第1日曜日を「遊びの日」として活動している。

水辺



大麻まちづくり 15 の提案

E-1 子どもと鳥のゆりかごプロジェクト

主体：親・子ども
野鳥や木エ、ガーデニング
など活動するグループ

場所：東大麻一号緑地

プロジェクトの概要

子どもと鳥の成長を見守ることができる場所づくり。
地域に生息する鳥たちについて学び、その生活環境について考え、自分の住む場所とまち全体を一緒に考えてみる。

Phase I

地域に住んでいる鳥たちを深に知ろう!!

Phase II

地域を訪ねてほしい鳥たちの住みやすい環境を考えよう!!

Phase III

自分のお気に入りの鳥が来てくれる場所をつくってみよう!!

Phase IV

鳥たちを観察できる快適な場所をつくろう!!

E-1：子どもと鳥のゆりかごプロジェクト

【参照したアイデアカード：No.36、54】

【提案について】

東大麻地区の魅力的な場所のひとつである「東大麻一号緑地」で考えたプロジェクト。くぼ地にあるこの緑地では、強い日差しや風雨から身を守りながら、鳥や虫の鳴き声をゆっくりと感ずることができる。よく手入れが行き届いたこの場所で、子どもたちは鳥や虫たちから自然を学び、そしてまち全体の自然を考える出発点にすることが出来ると考えた。また子どもを見守る場所づくりを中心として広がる親同士、地域の学生や高齢者のつながりは、この場所をより豊かにし、まちとしても大切な場所に成長する。

E-2：まちと遊び場改良プロジェクト

【参照したアイデアカード：No.54、69】

【提案について】

E-1と同じく東大麻地区の魅力的な場所のひとつである「新町公園」と「大麻第二緑地」で考えたプロジェクト。高低差のある地形を活かしたローラー滑り台や森の散歩道は、住民の憩いの場所に違いない。子どもたちや学生が協力して、自分たちお手製の遊具を作ること、この場所にさらに楽しさと愛着を与えると考えた。また、遊具づくりを通じて得た技術をまちに活かし、小さなまちの点検と修理を重ねることを考えた。自分達の手の加えられた愛着のある場所がまちに拡充していくこと、これがこのプロジェクトの目標である。

E-2 まちと遊び場改良プロジェクト

主体：親・子ども、学生
高齢者、商店

場所：新町公園
+ 第二緑地

プロジェクト概要

地形に合った遊具づくりを通じて、モノづくりの技術や地域の形を知る・学ぶ。こを活して、まちの傷ついた場所(道路・階段・桧式地)をみんなで直していく。

Phase I

木エワークショップ
⇒ 子供たちを対象に創造力
用具の使い方や素材の扱いを学ぶ

Phase II

公園で使えるオリジナル
遊具をつくってみよう!!

Phase III

「疲れてる? まちの点検と修理をしてみよう!」

Phase IV

みんなで作った作品・遊具の
展示会をしてみよう!

【創作技術を学ぶ、公園を充実】 **【まちの点検と修理で元気になる】**

【子どもと鳥の成長を見守る場所づくり】

E-3 みんな教えて！秘密の小道プロジェクト

主体：親子、学生、高年者。

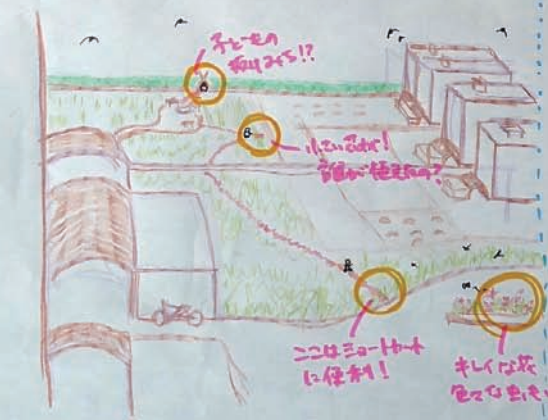
場所：道営大麻南樹町団地

プロジェクト概要

団地内の敷地で、住民、特に子どもたちが良く使っている小さな道や抜け道を発掘。新しい子どもたちおすめの小道マップを団地案内板にする。また、まちなかにある魅力的な遊歩道や小さな道を見つけて、名前をみんなで決めてみる。

Face I

団地内のお気に入りの場所、小道、抜け道を発掘 W.S. (ついでに)



No. 49 地方都市版 子どもによる仮想まちづくり『ミニ・ミュンヘン』

<解決できたこと> 市民としての主体性の育成 / 地域への連帯感の醸成

<仕組み> 「ミニ・ミュンヘン」は「子どもによって運営されるまち」であり、自分で考え、遊び、仲間と共に問題を解決する手段を学ぶ創造的学習の仕掛け。愛知県岡崎市では、2007 年から北部地域交流センター（なごみん）にて、子どものまち「なごみん横丁」を開催。小中学生を対象として、仮想まちづくり体験を行う。なごみん横丁では、役場、銀行、職業安定所などがある他、自分で商品を作り生産し、価格をつけて売を行う。

<事例> 場所：愛知県岡崎市 開始年：2007 年

期間：<短期> 平日 10:00-12:00 日中 13:00-15:00 夜間 18:00-20:00
主体：市 区 町 村 小 中 高 学 生
資金：市 区 町 村 小 中 高 学 生
形式：ワークショップ

集会所

No. 56 歩行者のためのまち

<解決できたこと> 地域住民間士の交流 / 景観改善

<仕組み> 良好な建築物が整備されるとともに公園空地が確保され、また秋田市のまちづくり方針である「壁面後退による歩行者空間の確保」と秋田駅前の「歩行者ネットワーク」が実現され、それにより賑わいが取り戻されてきた。

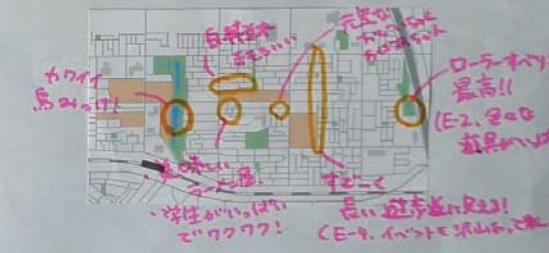
<事例> 場所：秋田市大町地区 開始年：1997 年 3 月 情報：集客の核となっているパティオでは様々なイベントが行われている。

期間：<短期> 平日 10:00-12:00 日中 13:00-15:00 夜間 18:00-20:00
主体：市 区 町 村 小 中 高 学 生
資金：市 区 町 村 小 中 高 学 生
形式：ワークショップ

道

Face II

まちに飛び出して、おすめの場所、小道、遊歩道、抜け道を発掘 W.S.



Face III

まちのみんなに小道の名前を募集!! 通り名を決めちゃう。

E-3：みんな教えて！秘密の小道プロジェクト

【参照したアイデアカード：No.49、56】

【提案について】

同営大麻南樹町団地の敷地内をよく観察してみると、雑草を踏み分けた小道や垣根に小さな抜け道？を発見することができた。団地の中にはきっと子どもたちお気に入りの場所や秘密の抜け道があるに違いない。これがプロジェクトを考えたいきっかけである。団地に住む人、特に子どもたちおすめの場所・小道マップを団地案内板に併設することで、その場所を大切にできる下地になるのでは、と考えた。また、大麻地区でも同様にお気に入りの小道を探して、名前をみんなで考えることで、まちの愛着につながる、と考えた。

E-4：遊歩道から感じる四季折々

【参照したアイデアカード：No.56、61】

【提案について】

E-1 から E-3 までは、大麻地区に点在する魅力的で大切な場所を強化するプロジェクトを考えた。E-4 の提案は、これら点在するまちの拠点をつなぐ意味をもつ、遊歩道でのイベントを考えた。四季や自然を歩いて感じることの出来る、遊歩道は、大麻地区の大きな特徴であると感じた。これをまちの資源として活かし、四季折々のイベントを各町内会と協働して開催することで、まちの将来を構想できる母体をゆるやかに形成することが、この提案の目標でもある。

E-4 遊歩道から感じる四季折々

主体：市民グループ、商店街のみなさん。

場所：道営大麻南樹町団地の横遊歩道、他

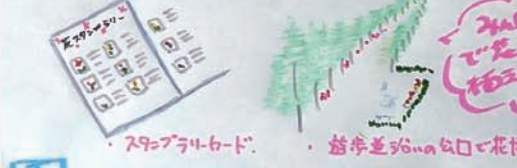


プロジェクト概要

大麻の魅力は、毎日歩いて楽しい季節を感じる遊歩道。季節ごとに遊歩道で町内会を超えたイベントを開催!!

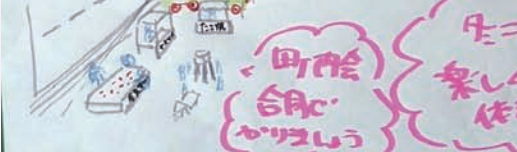
春

お花いっぱい！花スクエアラリー



夏

夏祭りへ遊歩道沿いの公園に屋台に



No. 56 歩行者のためのまち

<解決できたこと> 地域住民間士の交流 / 景観改善

<仕組み> 良好な建築物が整備されるとともに公園空地が確保され、また秋田市のまちづくり方針である「壁面後退による歩行者空間の確保」と秋田駅前の「歩行者ネットワーク」が実現され、それにより賑わいが取り戻されてきた。

<事例> 場所：秋田市大町地区 開始年：1997 年 3 月 情報：集客の核となっているパティオでは様々なイベントが行われている。

期間：<短期> 平日 10:00-12:00 日中 13:00-15:00 夜間 18:00-20:00
主体：市 区 町 村 小 中 高 学 生
資金：市 区 町 村 小 中 高 学 生
形式：ワークショップ

道

No. 61 「雪灯り」でまちを埋め尽くす！

<解決できたこと> 雪を活かすまちづくり / 冬季の観光客の増加 / 市民の自主参加

<仕組み> 「小樽雪灯りの路」は、小樽観光のブームが一過性で終わることを危惧した協議会が、雪という日常の風景を観光資源として取り上げたプロジェクト。毎年2月にまちを無数のキャンドルで埋め尽くす。場所は、運河周辺のメイン会場と病院、小学校、住居の最先などのサブ会場に分かれ、市民も自主的に参加。現在では4.5万人を超える来場者であり、冬の時期の観光客の増加に成功している。

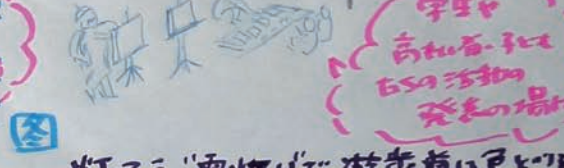
<事例> 場所：北海道小樽市 開始年：1999- 情報：連年地域の自主参加

期間：<短期> 平日 10:00-12:00 日中 13:00-15:00 夜間 18:00-20:00
主体：市 区 町 村 小 中 高 学 生
資金：市 区 町 村 小 中 高 学 生
形式：ワークショップ

道

秋

町内会対抗！秋の芸術祭



灯ろう「雪灯り」で遊歩道にそとに + ノルディック・スキー大会



大麻ワークショップ合宿タイムライン

8月21日(木)

1日目

11:00 大麻到着！！

14:00

まちかど美術館 & ポストイット・ワークショップ

まちの宝物はどこに？ まちかど、ここに一言！



17:00

住民のみなさんとまちかど美術館の発表会



19:00

Kick off Party

@江別港 (麺こいや)
大麻銀座商店街
大麻東町13番地

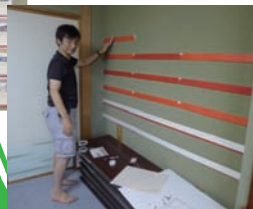


8月22日(金)

2日目

10:00

『まちづくり70の
アイデアカード』の共有



13:00

大麻まちあるき

~それぞれが大麻のまちに身体をひたしてみた~

大麻の風を感じ、耳を澄まし、街を一人で歩く。
大麻に身体を浸し、時を過ごす。



16:00

まちあるき × アイデアカード
で各自が提案内容を検討



8月23日(土)

3日目

9:00

広域まちあるき 水とエネルギーの循環を確かめる



水とエネルギーの循環を確かめる
飲料水、排水、排雪、地下水は？
エネルギーは？ 地産地消は？



14:00

提案のブラッシュアップ

17:00

あじさい亭 納涼食事会



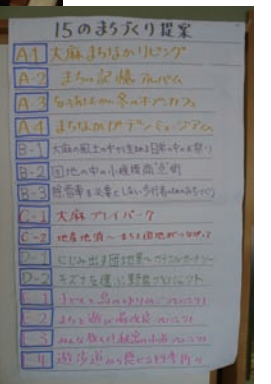
21:00

エコデモ 15 原則チェック

8月24日(日)

4日目

前日から徹夜で発表準備！！



15:00

15 の提案発表会 & 意見交換会



19:00

打ち上げ Party

@焼肉後楽園
大麻銀座商店街



まちかど美術館 & ポストイットワークショップ

額ぶちワークショップ

赤い額縁を持ち歩いて大麻でまちあるきを行った。住民の方9名、東工大関係者7名で、3チームに分かれそれぞれ別のルートを歩いた。住民の方から見て、また外部の目から見て良いところ、気になったところを持ってきた額縁に収め写真を撮ることによって一つが作品のようになり、またそれらがたくさん集まることで大麻地区をテーマとした美術館のようになった。

更に気になった点をポストイットに書き込み、気になった所に貼り、写真をとるポストイットワークショップも同時に行なった。一緒にまちあるきをした住民の方にまちのなかのあらゆる場所で様々なことを教えて頂いた。

また、大きな赤い額縁を持ち歩くことで、とても目立っていたこともあり、まちあるきをしているなかで出会った多くの住民の方と交流することができた。このまちあるきを通じて、大麻地区における豊富な資源を確認できるとともにアイデアの提案にも大きくつながった。



参加者（敬称略）

A 班	B 班	C 班
齊藤徹	遠藤淳	牧野
齊藤佐知子	山田孝子	荻野陽子
田村稔	金子刀	東宮淳二
葛西伸直	坂村圭	北島拓也
吉田祐記	菅原翔大	増田知久
土肥真人		

作品リスト

- A-1 はまなすの花
- A-2 緑道
- A-3 あじさい亭
- A-4 zeebra
- A-5 まちなかのキレイを残した
- A-6 まちなかの静けさ
- A-7 自慢のパークゴルフ場
- A-8 木立のトンネル
- A-9 まだ夏
- A-10 サイロと壁
- A-11 雑草の湯気
- A-12 たたかいの跡
- A-13 静寂な住宅

- B-1 江別の顔
- B-2 いつのまにかなかった病院
- B-3 動物もたくさん！
- B-4 きれいな花だん
- B-5 色どり仕掛け人
- B-6 顔の見える塀
- B-7 風土から生まれる統一
- B-8 まきストック？
- B-9 市民農園
- B-10 壁画アート！
- B-11 子供+音楽

- C-1 みんなの要望でつくったコンビニ
- C-2 紅葉が美しいナナカマド
- C-3 絵本のようなトンガリ屋根
- C-4 季節はずれの“青”
- C-5 野鳥も来る公園
- C-6 まちを彩る街路の花
- C-7 かわいい構造の家
- C-8 スノーマン・オン・ザ・ウォール
- C-9 いやしの空間
- C-10 パークゴルフとおじさん

ポストイット

- a-1 スロープ危ない！！
- a-2 コミュニティ単位 あえてつながらない遊歩道
- a-3 45度ずれるのは北海道ではいい
- a-4 エレベーターどうするの！？
- a-5 雪の置き場がない... 6m 道路 車も交差しにくい
- a-6 クルドサックは賛否両論
- a-7 実は空き地空き家は多くない
- a-8 旗ざお地 市道で除雪が入らない
- a-9 三角屋根からフラットへ 景観の混乱
- a-10 大麻団地はここまで。この先は地形がおちる
- a-11 もともと水害を受けない高い居住地
- a-12 最近では低地にも家が建ってきた
- a-13 6才以下の子供の住宅が大事。ゆりかご住区（幼稚園中心）

- b-1 同じ区画内で新築と解体
- b-2 小さすぎるクルドサック
- b-3 使われる空き地と使われない空き地
- b-4 まちを分断する除雪林

- c-1 除雪のために一車線になる
- c-2 賛否両論のクルドサック
- c-3 道やバス待ちのベンチが少ない
- c-4 空き店舗の落雪
- c-5 庭がせまくなった最近の住宅
- c-6 近所にお店がない
- c-7 取りこわしの話に反対の運動がおこっている... ??
UR 中町団地（がせかも）



まちかど美術館作品集その1



A-1 はまなすの花



A-2 緑道



A-3 あじさい亭



A-4 zebra



A-5 まちなかのキレイを残した



A-6 まちなかの静けさ



A-7 自慢のパークゴルフ場



A-8 木立のトンネル



A-9 まだ夏



A-10 サイロと壁



A-11 雑草の湯気



A-12 たたかいの跡



A-13 静寂な住宅



B-1 江別の顔



B-2 いつのまにかなくなった病院



B-3 動物もたくさん！？



B-4 きれいな花だん

まちかど美術館作品集その2



B-5 色どり仕掛け人



B-6 顔の見える塀



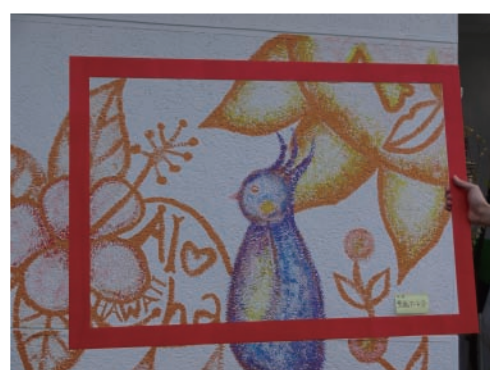
B-7 風土から生まれる統一



B-8 まきストック？



B-9 市民農園



B-10 壁画アート！



B-11 子供＋音楽



C-1 みんなの要望でつくったコンビニ



C-2 紅葉が美しいナナカマド



C-3 絵本のようなトンガリ屋根



C-4 季節はずれの“青”



C-5 野鳥も来る公園



C-6 まちを彩る街路の花



C-7 かわいい構造の家



C-8 スノーマン・オン・ザ・ウォール



C-9 いやしの空間



C-10 パークゴルフとおじさん

大麻まちあるき - それぞれが大麻のまちに身体をひたしてみた...

大麻のまちを一人で歩き回る

初日は住民の方を交え、にぎやかにグループでまちあるきを行なったが、2日目は東工大の学生がそれぞれエリアごとに分かれ、一人でまちあるきを行なった。それぞれが一人になって感覚を研ぎ澄まして感じたことや、これまでに調べてきたこと、前日のまちあるきを通じて得られたことを大麻地区のためにどのように活かせるかを考えながら歩き回った。



ルート A

- ①比較的新しく造成された道営団地。付随する公園は広々としており、木々も多い。
- ②敷地面積が広く、きれいに彩られた庭を持つ戸建て住宅が多く見られる。歩道には色とりどりの花が植えてある。
- ③おうぎまち公園に続く緑の小道が素敵で散歩したくなる。周囲に小学校や保育園もあり、楽しげな子供の声が聞こえてくる。
- ④商店街は営業していない店も多い。一方で周囲には新しいカフェやパン屋さんも。

ルート B

- ①多様性と統一性が兼ねそろった戸建住宅街。低い塀、三角屋根、前庭などのデザインに興味を持つとともに、その根底となる大麻の風土に思いをはせる。
- ②住宅街の中に突如現れるトマト屋さん。30分近くも貴重なお話を伺う最中に、大麻の衰退しつつある商店街のことが頭をよぎる。
- ③改めて大麻の豊かな地形と自然に驚く。同時に、自然を活かした上でコミュニティスペースを生み出しているパークゴルフに圧倒される。

ルート C

- ①巨大団地で住棟が多く、また共有のスペースである広場も広く、遊具も多くあるが、人氣が少なくもの寂しさを感じる。
- ②大麻駅から出てすぐ右手に林が見え、そのなかには歩道もあり、自然を感じることができる。
- ③地元の人が住宅街のなかでトマトを販売している。
- ④冬に排雪地になっているであろう広場があり、夏は様々な活動ができそうである。

ルート D

- ①白いカーテンやカーテンのない部屋が目立ち、殺風景な印象を受ける団地の風景。
- ②白樺の木が目の前に広がり、葉がこすれる音が聞こえるそのまち公園の入り口。
- ③道を歩いていると塀が低いために家庭菜園や花壇の様子を窺うことができ、大麻の人々の草花を愛でる心を感じる。
- ④真っ直ぐ伸びた道の先は広々とした野原になっており、思わず走り出したくなる。
- ⑤一羽のサギが休息していた公園の池。

ルート E

- ①くぼ地になっているこの緑地は、雨の中のまち歩きの休息の場に。風が穏やかで、手入れが行き届いたここは居心地が良い。
- ②新町公園は様々なスポーツが楽しめる。雨にも関わらず、ローラー滑り台に挑戦。ごみや散歩道が傷んでいることが気になる。
- ③雨の中子どもたちが楽しそうに歩く。抜け道や小道を発見して嬉しくなる。
- ④2街区にまたがる遊歩道を発見。晴れの日や春、秋、冬の心地良さを想像して歩く。

広域まちあるき ～エネルギーと水の循環を確かめる～

広域まちあるきで見えてきたこと

排水機場⇒堆雪場⇒高配水池⇒江別浄水場⇒防災ステーション⇒江別駅前周辺⇒環境クリーンセンター「くるりん」⇒町村牧場、というルートを車で回った。住民の方4名、東工大関係者7名が参加し、車3台に分乗し、約40Km走った。大麻地区の水はどこから来ているのか、エネルギーはどこから来ているのか、廃棄物はどこへと運ばれていくのか、雪はどう処理されるのか、直売所で売っている野菜はどのあたりで作られたものなのか等といったことを広域で考えることで大麻地区内のみでは得られなかった視点を得ることができた



まちづくり 70 のアイデアカード

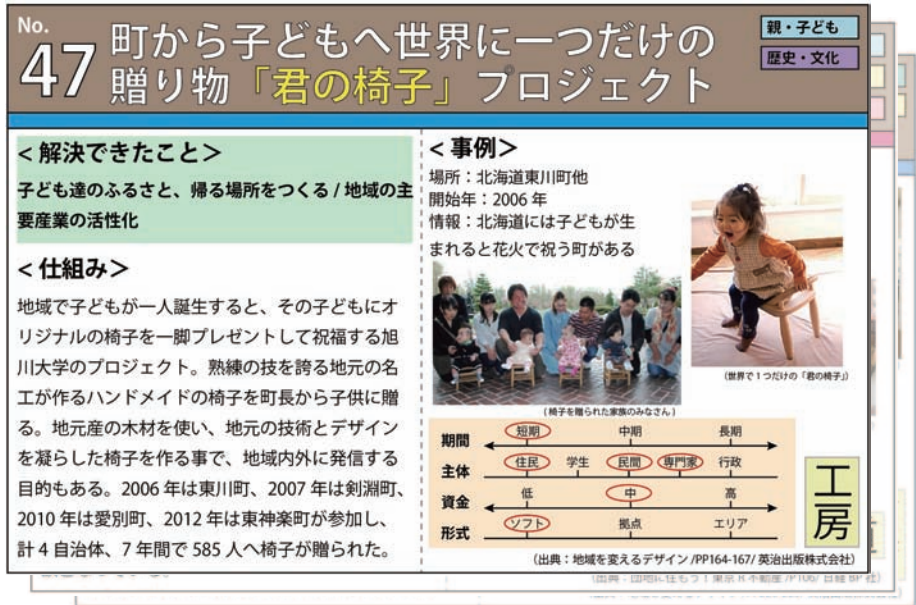
まちづくりアイデアカードの作成

大麻で具体的なまちづくり提案を行うために、団地・地域再生に関するアイデアカードを事前に作成した。全国各地で実際に行われている事例を選び、かつ大麻でのまちづくりをイメージしながら、70 のアイデアカードを作成する事ができた。

団地再生の定番事例である、コミュニティの拠点づくりや住戸改修をはじめ、菜園や子ども達の遊び場づくりを通じた地域再生の事例などを中心に、北海道での事例や海外の事例についても取り上げ、大麻での提案のヒントとなるアイデアを集めた。

アイデアカードでは、プロジェクトの仕組みを写真とともに簡単に説明している。また分野別、プロジェクトの実施場所やタイプ別、期間・主体・資金などで検索がしやすいようにインデックスをつけた。全員で 70 のアイデアカードの情報を共有し、大麻での提案を行う際に使用した。

アイデアカードの一例



展示された 70 のアイデアカード



70 のアイデアカード一覧

No.	タイトル	事例の場所
1	空き家ホテルで宿泊難民を救おう！	茨城県取手市井野団地
2	ダンチdeマルシェ	神奈川県横浜市若葉台団地
3	コミュニティの作戦拠点兼カフェ	茨城県取手市井野団地
4	団地をDIY！	一部UR団地
5	「トウトク式」高齢者送迎サービス！？	東京都武蔵村山市 村山団地まいど宅配
6	みんな集会所で私の趣味をしよう！	東京都江東区北砂五丁目団地
7	高齢者の心と身体の24時間ケア団地	東京都日野市 ゆいまーる多摩平の森
8	団地＋シェアハウス＝学生寮？	東京都日野市りえんと多摩平
	無印良品リノベーション	大阪府都島区 リバーサイドしろきた他
10	高齢者向けみまもり住宅	神奈川県横浜市 奈良北団地
11	まちなかにあらわれる「居間」	埼玉県北本市北本団地
12	学生たちの「まちなカラボ」	兵庫県神戸市垂水区、明石市 明石舞子団地
13	ご当地キャラクターづくり	兵庫県神戸市垂水区、明石市 明石舞子団地
14	キッチンガーデン・プロジェクト	兵庫県西宮市の浜甲子園団地
15	障害の垣根を越える「音楽隊」	大阪府堺市南区 泉北ニュータウン
16	団地の記憶・風景を留める アーカイブ施設づくり	東京都北区 赤羽台団地
17	まちなか農園プロジェクト	仙台旧市街 片平・花壇・大手町地区
18	幽玄・多彩な「色つきマンション」	ドイツ・ダムシュタット市
19	記憶を引き継ぐ団地のお葬式	吹田市青山台地区
20	日常を観光資源とする「まちコンシェルジュ」	兵庫県姫路市 家島地区
21	奥にしまわれたモノに光を当てる「おっこう屋」	高知県香南市 赤岡町横町商店街
22	市民が教育に参加する「放課後NPO」	東京都港区
23	人と人をつなぐ「まちのうわさ」プロジェクト	青森県八戸市中心市街地

No.	タイトル	事例の場所
24	「住む＋α」ができる団地	多摩ニュータウン
25	団地のなかに小さなまちの単位をつくる	不明
26	シェアハウスでわいわい！	UR都市機構のある賃貸団地
27	みんなで使えるマルチルーム！	UR都市機構のある賃貸団地
28	アートを絡めた耐震補強	大阪府大阪市此花区 伝法団地
29	にじみだす生活風景	ライネフェルデ団地(ドイツ)
30	人が見に来るような緑地	愛知県長久手町
31	コミュニティフォレスト	東京都三鷹市
32	二地域居住－都心と田舎に住む	神奈川県西湘
33	自然、趣味に没頭するいごごちよさ	場所不明
34	学生の手による住戸改修	兵庫県尼崎市 西武庫団地
35	地域の居場所づくり～人と人をつなぐ	多摩ニュータウン 第一次入居地区・永山団地
36	自然と触れ合う場づくり ～子供たちに環境学習の機会を	川西市D団地
37	まちの博覧会	不明
38	住戸全体をワンルームに	柏市
39	廃棄物処理による肥料で家庭菜園を！	サンヴァリエ桜堤
40	アーティストの拠点	千葉市 海浜ニュータウン
41	エコ村での菜園づくり	小舟木エコ村(近江八幡市)
42	アーケード再生で冬のにぎわい創出	北海道帯広市中心街
43	まちづくりニュースレターで情報発信	北海道江別市大麻団地
44	住まい相談会で相談対応の場づくり	北海道江別市大麻団地
45	ワークショップでまちづくり意識の共有	北海道江別市大麻団地
46	協議会はまちづくりのプラットフォーム	北海道江別市大麻団地

No.	タイトル	事例の場所
47	町から子どもへ世界に一つだけの贈り物「君の椅子」プロジェクト	北海道東川町他
48	地域の人目替わりのワンデイシェフ・システム	三重県四日市市他
49	地方都市版 子どもによる 仮想まちづくり「ミニ・ニュンヘン」	愛知県岡崎氏
50	映画を通じた地域プロデュース	宮城県南三陸町他
51	「せたがや水辺の楽校」 子供と自然が共生する遊び場づくり	東京都世田谷区
52	アートでつなぐ地域と農	東京都世田谷区野毛
53	防災まちづくりをきっかけとした 知恵の分かち合い	宮城県東松島市新東名 ・東京都世田谷区
54	「自分の責任で自由に遊ぶ」プレーパーク	東京都世田谷区
55	まちの記憶を集めて絵本に！！	東京都世田谷区南烏山
56	歩行者のためのまち	秋田市大町地区
57	住民で会社を設立し地域へ還元！	神戸市東灘区 新甲南市場
58	小さく徐々に再開発	埼玉県上尾市 コープ愛宕
59	札幌一番街グリーン・オン・パレード	北海道札幌市 南一条地区
60	「基金」で守る歴史とまちなみ	北海道函館市など
61	「雪灯り」でまちを埋め尽くす！	北海道小樽市
62	「車座」で話し合おう！！	東京都目黒区大岡山
63	定期借地権を活用して再建	兵庫県芦屋市 ルポアール芦屋
64	除雪してくれたら助成金出します！	新潟県新潟市西区
65	高齢者コンビニ「ば・じ・る」	北海道美幌町
66	市民と企業をつなぐ縁結び	北海道千歳市
67	雪かきボランティアで世代間交流	新潟県十日町市
68	仲間を作り、草花を育て、幸福を願う 園芸福祉活動	東京都世田谷区瀬田
69	マナブ de アソボ づりリンク	東京都世田谷区
70	マンションが緑いっぱい「たぬき村」に！！	東京都世田谷区砧

凡例

- 地域再生の定番事例
- 団地再生の事例
- 北海道の事例
- 世田谷の事例
- 海外の事例
- その他

参考文献にした資料：

- ・団地再生まちづくり 1-3/ 水曜社
- ・団地に住もう！東京 R 不動産 / 日経 BP 社
- ・Republic 公共空間のリノベーション / 学芸出版社
- ・地域を変えるデザインーコミュニティが元気になる 30 のアイデア / 英治出版株式会社
- ・地域を変えるデザイン / 英治出版株式会社
- ・まちの再生ハンドブック / 風土社
ほか

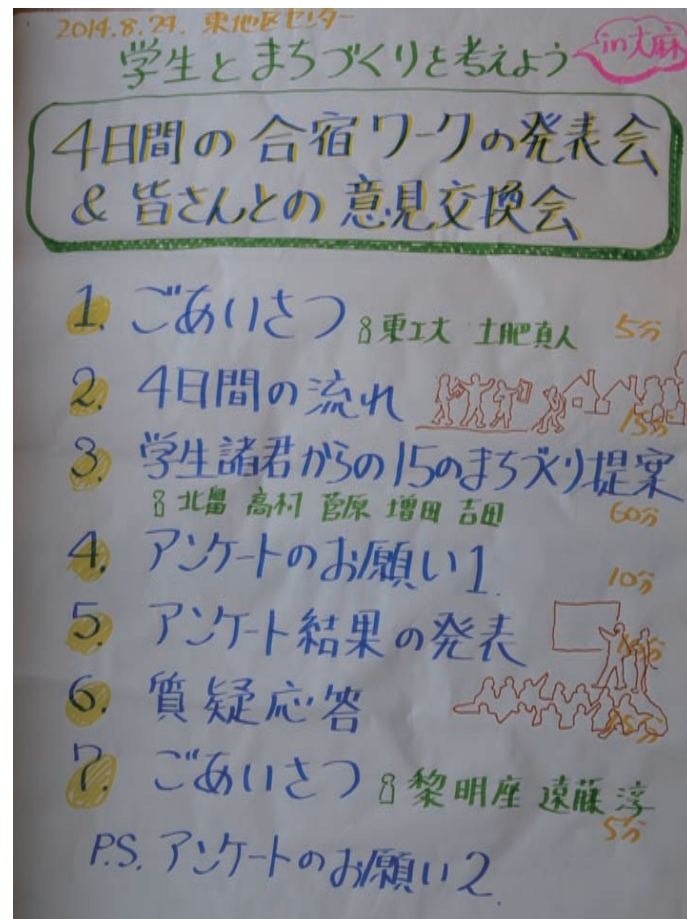
参考にしたウェブページ

- ・国土交通省 都市・地域整備局 / まち再生事例データベース：
http://www.mlit.go.jp/crd/city/mint/htm_doc/
- ・世田谷トラストまちづくり：
<http://www.setagayatm.or.jp/index.html>
- ・江別市 市民協働・市民活動：
<http://www.city.ebetsu.hokkaido.jp/life/1/12/55/> ほか

発表会&意見交換会の様子

発表会

東地区センターを会場に、総勢28名の大麻のまちづくりを牽引する住民、NPO、市議会議員などの方の前で発表会を行った。まず土肥真人から本プログラムの説明、この4日間の活動の報告がなされた後、学生による15のまちづくりの提案が行われた。学生を含めたすべての参加者が大麻の今後のまちづくりに真摯に向き合えた濃密な2時間であった。



▲発表会プログラム



▲発表会がはじまります



▲参加者の方も真剣



▲貴重なご意見を伺います



▲学生5名による15の提案

意見交換会

発表会の後半では、学生による15の提案に対して、参加者の方に様々な角度から質問・指摘をいただいた。15の提案を発展・実現していくことを真剣に考えていただいた結果、時に厳しい指摘を頂くこともあったが、終始和やかな雰囲気であり、全て大麻の将来を考えた前向きな意見だった。



金子さん：15の提案は面白いが、現実味が無く理想論にすぎないのではないかと。20年前にこの提案があればよかったが、現在の高齢化は深刻な問題である。

菅原（東工大）：確かにそうだが、まちあるきを通して現実的に考えたつもりです。

吉田（東工大）：理想的な提案でよいと思う。船戸さんの言葉を借りれば、『夢なくして目標なし。目標なくして実行なし。実行なくして成果なし。成果なくして喜びなし。喜びなくして感動なし。感動なくして人生なし。』つまり、まちづくりには夢が必要だと言うことです。

土肥（東工大）：最近の若者は夢を実現していて、20年前とは状況が変わってきています。



船戸さん：まちの記憶アルバム、ガーデンミュージアム、プレイパーク、商点街、地産地消などのアイデアはすぐにでもやってみたい。今まで学生や若者と交流してこなかった事を反省しています。

北島（東工大）：15の提案をヒントにして実際の活動に役立てて頂ければ嬉しいです。



諏訪部さん：以前、年に一回写真を撮るプロジェクトがありましたが継続する事ができませんでした。今の時代、離れていてもデータのやりとりができ、関係を維持しながらプロジェクトができるといいですね。



中井さん：遊歩道のアイデアはやってみたい。これが大麻の魅力であり、代弁してくれて嬉しい。

吉田（東工大）：遊歩道は本当に素敵でした。遊歩道を通じて町内会を超えたゆるやかなつながりを形成してほしいと思います。



村中さん：雪の圧雪は北海道に住んでいる住民は思いつかないような考えだと思いました。こうした外から来た人のアイデアを取り入れて我々も考えていきたいです。また、私が先日訪れたまちでは、建物の色をオレンジ色に塗りイメージアップを狙っている場所がありました。このようなアイデアはすぐに実践に移せると思います。

坂村（東工大）：コストや現実性をもっと調べた上で工夫していきたいです。大麻には自然もあり、組み合わせれば、現実になると思います。

増田（東工大）：まちの魅力を引き出すことは実は簡単にできるのだと思います。人々の活動がもっとまちにしみ出てくるといいと思います。



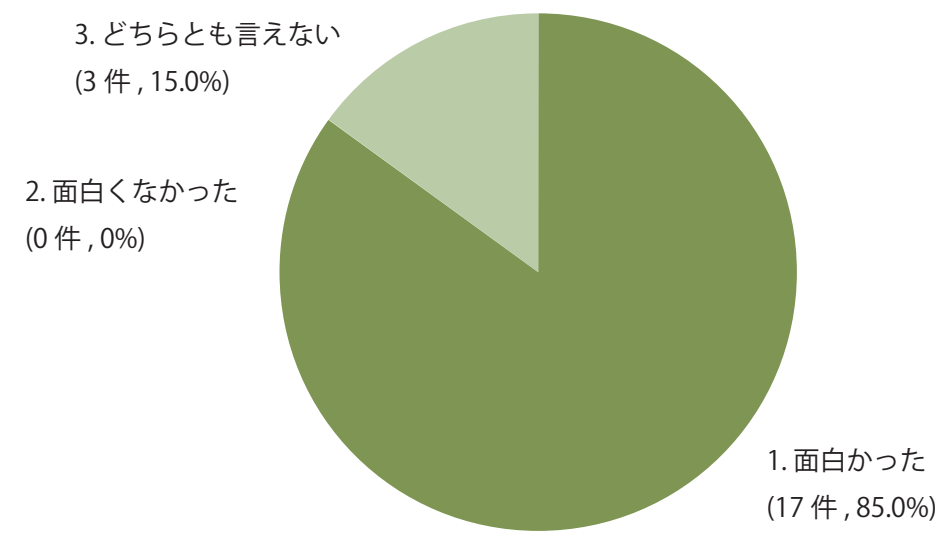
白鳥さん：こんな面白い企画に最初から参加できず残念です。またやって欲しいです。



橋本さん：次回は北海道の学生を呼んで、是非やってほしい。

発表会に対するみなさんの声

1-1 発表会＆意見交換会は、皆さんの役に立ちましたか？



1-2 参加したご感想をご自由にお書きください

若い人の考えに新鮮さを感じた。待ちの姿勢から攻めの考え方の必要性を感じた。

地元の人が気が付かないことを、感性豊かな学生さんの提案として、大変興味深く拝聴しました。大麻の資源を活かす視点で愛情、記憶、楽しさを大事にすることを教えていただいた。有難うございます。

- ・この大麻を貴重資源を使い、合宿の場としてくれたことに感謝します。
- ・若い学生の目で、感性で、的確に評価し、改善のヒントを頂いたと思う。
- ・土肥先生が大麻は「風格と愛情がある街」と述べられましたが、私たちはこれをスローガンに、夢に、今後のまちづくり活動を進めたいと思います。

D-2について（私の今後やりたいこと）。巣箱を作って設置する運動をしたいと思っている。実のなる木を増やす運動が必要（ナナカマドが良い）。

地域外の若者の感じ方が少し見えてよかったです。街の評価が高過ぎたのはちょっと気になりましたが。

- ・自分の子育て時代を思った。
- ・今、園町第五地区は子供が増え、夏休みラジオ体操がにぎわった。
- ・中央公園の遊び場づくりに。

最近、高齢者がジョギングしたり、パークゴルフをしたりしている人が多い。今回提案の中で、休憩所と兼ねた「まちなかりビング」などに感心を持ちました。お疲れ様でした。

日常住んでいると、自分のまちの良いところが見えず、よくない部分だけ目につくものです。外の新鮮な意見がありがたかったです。

学生さんが、子供の感性を持っていて、それがアイデアを素直に生んでいるのかなあ。

ソフト面からのまちづくりの提案も欲しかった。

若い人の力がほしい。

地元に住んでいる学生さんであれば実現可能かもしれない。

今回は全く参加できませんでした。ごめんなさい。みなさんのメッセージ、提案を素地にし、少しでも多くのものを実現したいと思います。

とてもよかったです。

参加された地元住人の方々が高齢者が圧倒していることを見ると、この団地が高齢者を中心に運営されていることを実感しました。再生には、若年化が重要。若年者の魅力ある街づくりのために、既に住んでいる商会者の柔軟な（寛容な）発想と認識が大切であると思いました。

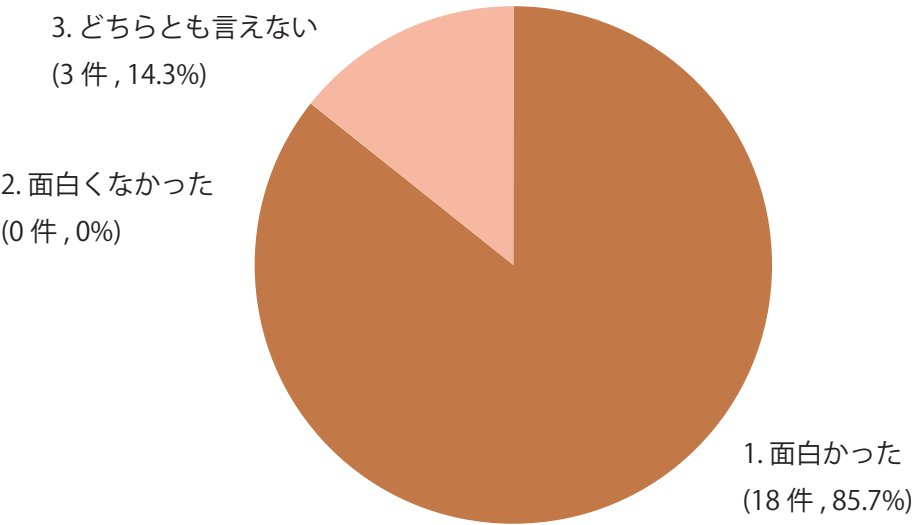
学生さんの発表会としては、内容も立派で、実のあるものであったと思う。しかし現実はどうでしょうか？

私は中央公園を歩きやすく、整備して、沼にハスの花（富良野の青い池のように）を生けると、札幌からや、遠くからの人々も森や自然や鳥や花を見に来てもらえる。商業も盛り上がり、大麻のまちに活気があふれると思う。

新しい視点から参考になることは多かった。住み替えについて提案を期待していた。

江別に長年住んでいますが、まだまだ知らない事がたくさんあるという事を、あらためて知りました。楽しそうに興味のある企画をたくさん提案していただきましたが、住民の一人として少しでもこの提案を活用し、まちづくりに生かしていきたいと思いました。ありがとうございました。

2-1 東京工業大学の学生たちが大麻に4日間住み込みながら、大麻のまちづくりを提案した活動をどのように感じましたか？



2-2 この企画に対するご意見・ご感想をご自由にお書きください

外からみた大麻の良さを教えていただいて良かったです。住民の中には悪いところばかりを見る、言う人が多いので、もっと自分の街の良さを言える、思える人を増やして行きたいと思いますし、またそのお手伝いをしていただけると幸いです。冬も来年の夏も来てくださいね！

住んでいる土地でない、他者の目から見ての提案は驚くほどの感性と、自由に資源を結びつけるアイデア力は素晴らしいと思います。このような企画は、相互に大きな成長（気づき）ができてとてもいいと思います。

隣接する札幌市（新札幌、森林公園駅周辺）とのつながりから、交通、商圈、住み替えの立地条件について提案、感想を聞きたかった。

ゼミのプロジェクトと知らずに参加しましたが、おもしろい企画だったと思います。他の大学でも同様の企画をしているところがあり、連携できればいいですね。

よき刺激になり元気になれた。自治会の話題にも。

問題は住む人にどう仕掛けるかだと思う。

できれば、この合宿を継続してやっていただければありがたく思います。

活動自体は立派だと思うが、何にか現実と合わない点も多かった。主目的とする方向は正確なのか？

学生さんのアイデアを、是非、大麻、文京台まちづくり協議会に提案し、実現に向けてプロジェクトを進めていきたい。

発表は理想で実現は難しい。

来年もやってください。

感謝、感謝です。それと楽しかったです。

考え方の方法が参考になった。

空き地をうまく利用するという意見はとてもいいと思いました。野菜マルシェなど、小さなお店を空地を使って、人と人との会話と交流の場イベントなどを、インターネットなどで宣伝するとまちに遊びに来る人が増えて活気がつく。冬場の空地や商店街などにアイスキャンドルや、小さな冬の雪祭りなども面白いと思います。

他の地域でも、もっともつとこのような活動をしていくことができると良いな—と思いました。江別には、また冬に来ていただいて、冬のきびしさを体験しながら、今回の提案をさらに深めていただけたらありがたいなと感じました。

普段まちづくりを研究する同外の若い学生が注意深く客観視した中での提案には、どれも興味深く、大麻団地の資源を改めて認識する機会となり、学生の皆さんの取り組みに感心しました。少子高齢化が進む地域では、外部からの移住者（定住者）を増やすための思い切った仕掛けづくりが重要と感じました。とても貴重な今後参考とすべき提案ばかりであったと思います。

北海道のまちづくりでは、やはり冬の生活での提言が必要なので、今度は雪で埋もれる街を観て、もう一度提案していただきたい。

おわりに

早朝からうだるような真夏の東京を出て、昼前に大麻に着くと薄曇りの涼しい風が身体に心地よかった。麵こい屋の「ぞこ寝」宿所に荷物を放り込み、東地区センターへ。午後からの「まちかど美術館」ワークショップの準備にかかる。そして9名もの大麻の人々がセンター和室1号に来てくれて、大麻到着後2時間でまちあるきワークショップが始まった。

今回の「大麻まちづくり合宿」は、次の5ステップからなるプログラムで進められた。

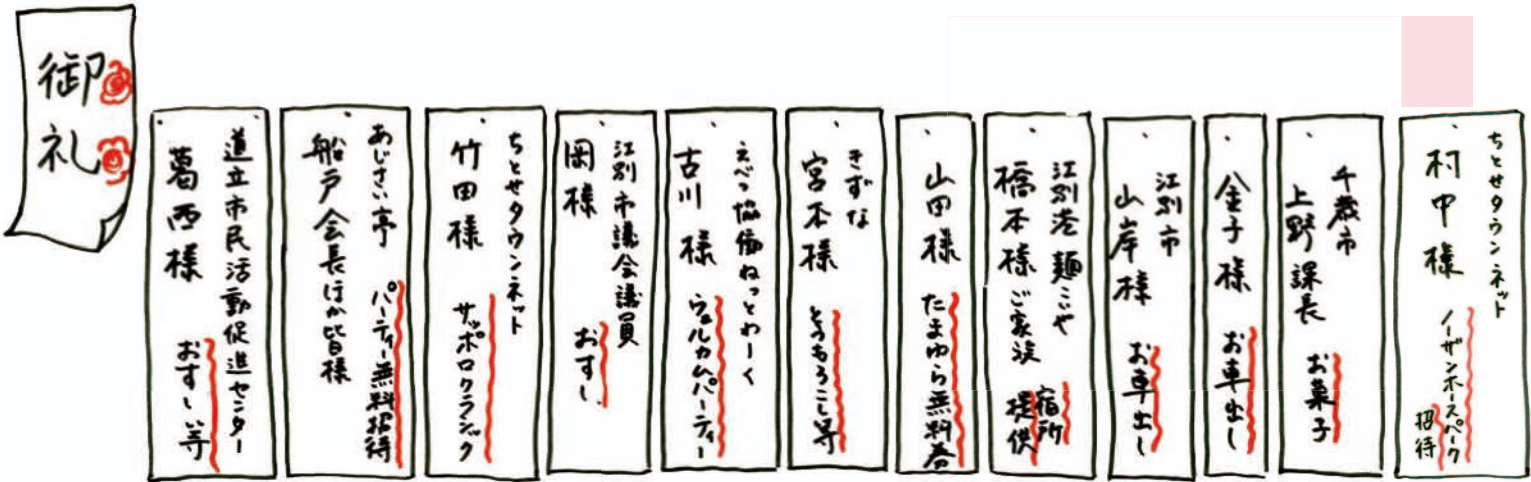
- 1. 東京での準備：全国からまちづくりのアイディア事例収集（70事例）、江別を流れる水や エネルギーの循環系の勉強、歴史や自然環境の確認など
- 2. 街の人と一緒にまちあるき「まちかど美術館&まちかどポストイット」ワークショップ：大麻の町の宝物を教えてもらう。真っ赤な額縁で私たちが大麻に来たことを宣伝する。
- 3. ひとりぼっちになってまちに居るワークショップ：身体を雨と風にさらし、心を漂わせ、大麻のまちを感じる。70事例を参考にまちづくり提案を構想する。
- 4. 広域まちあるきワークショップ：森林公園の高配水池から浄水場から石狩川、ゴミ処理施設まで、車で回る。途中の自然、田園、宅地の風景も心にとどめる。
- 5. 成果発表会&意見交換会：学生諸君からの提案を発表し、住民の方々から意見を頂戴する。

1と3は学生諸君の努力、2と4と5は大麻の方々のご協力のおかげで、15のまちづくり提案はとても充実したものになり、また4泊5日のまちづくり合宿も素晴らしいものとなった。学生諸君には敬意、まちの皆様には感謝を申し上げます。

今回の滞在中、何度も尋ねられたことがある。「なんでまた、東京からこんな遠くまで？東京にも郊外団地はたくさんあるでしょ？」いろんな答えはあるのだが、「いろんなご縁でお邪魔してます。」というのが本当のところだ。そして大変で充実した合宿を終えて、この「ご縁」は正しかったし、ますます強くなっていると感じている。

大麻のまちを考え行動を起こしている多くの方々が既におられる中で、「大麻のまちに何かできないか。」の前に「私たちに何が出来るのだろうか。」という気持ちで大麻のまちにお邪魔した私たちだったが、初めて出会う方々に変な暖かく迎え入れていただき、感謝している。本当にありがとうございました。次にお会いする時にも、どうぞよろしくお願いします。

東京工業大学 准教授
土肥 真人



リンク

団体・組織

一級建築士事務所 黎明座	http://www010.upp.so-net.ne.jp/leimeiza/
東京工業大学 土肥研究室	http://www.soc.titech.ac.jp/~dohi/
Community HUB 江別港	https://ja-jp.facebook.com/poebetsu
NPO 法人えべつ協働ねっとわーく	http://center-i.jp/new/html/
アクティブ・アクティブ	http://www.chitose-town.net/act/renkei.html

報告書

団地再生勉強会（製作：アクティブ・アクティブ、土肥研究室）	http://www.soc.titech.ac.jp/~dohi/documents/danchi.pdf
学生とまちづくりを考えよう！ in 大麻（※今回の報告書）	http://www.soc.titech.ac.jp/~dohi/documents/ooasa.pdf

学生とまちづくりを考えよう！ in 大麻
2014年9月1日作成

＜制作＞
遠藤 淳 一級建築士事務所 黎明座・NPO 法人コンカリーニョ
土肥 真人 東京工業大学 社会工学専攻
東京工業大学 土肥研究室有志（吉田祐記 菅原翔大 増田知久 北畠拓也）
＋坂村圭

＜連絡先＞
札幌市中央区北1条西15丁目大通りハイム811
一級建築士事務所 黎明座（遠藤）TEL 011-598-0001 leimeiza@wa2.so-net.ne.jp